

4 施 工

Q-48 フラットデッキを用いた場合の床スラブのひび割れ防止対策を教えてください。

A

フラットデッキ型枠は、木製型枠とは異なり原則として支保工を用いないので、コンクリートが十分な強度を発現するまでは変形しやすく、振動しやすい等の特徴があります。そのため、コンクリートのひび割れを防止するために下記に挙げる注意が必要です。

- 1) コンクリート打設時には、既設部分への振動を抑える。
- 2) 初期養生中の急激な乾燥を避ける。
- 3) コンクリート硬化前の载荷を避け、スラブに有害な影響を与えないよう養生する。
- 4) 中間支保工を設けている場合は支柱が沈下しないよう設置し、取外しは昭和 63 年建設省告示 1655 号「現場打コンクリートの型枠および支柱のとりはずしに関する基準」に準じる。
- 5) フラットデッキ下面の著しい冷込みを防止する(床スラブ上面との温度差を少なくする)。

なお、同様の注意事項が「フラット指針」の「5章 5.1 節 c 項 (5) コンクリートの打設」に記載されておりますのでご参照ください。